

会員だより

私の岐阜大学歴は、今年で8年目を迎えます。というのも、地域科学部・富樫ゼミの学生として4年間を過ごしたのち、この岐阜大学へ事務職員として就職しました。昨年度からは、施設課の職員として、学内工事の契約業務や不動産の管理を担当しています。

「まち」に建物や道路があって、ガスや電気が通るように、大学にも同じような機能が備わっています。まちづくりのような「大学づくり」に関わるのが、施設課の職員だと感じています。大学職員でありながら、今の部署で直接学生に接する機会は多くありません。一方で、学生時代に富樫先生や仲間と、岐阜や郡上のまちで学んだ身としては、今の仕事に携わることには不思議な縁も感じます。

昨年には、アメリカの大学での研修の機会をいただきました。広大な敷地を有する、まさに「まち」のような大学で、日本とは

第17期生 舟橋 皓希

異なる大学運営のシステムを学びました。外に視点を広げ、事務職員という立場から、大学というものの奥深さに気づかされました。

今年に入り、コロナウイルスが猛威を振っています。本学でも入学式が中止となり、この文章を書く6月に入ってようやく、新入生の姿がキャンパスで見られるようになりました。8年前の自分がそうだったように、学生が安心して楽しく大学に通える日のために、微力ながら目の前にこのことに粛々と取り組む毎日です。

状況が落ち着いたら同窓生の皆さまも、ぜひ岐阜、そして柳戸へお越しください。岐阜に関わるひとりとしてお待ちしております。



研修先のノースカロライナ州にて
(筆者は右から2番目)

2020年度 森の会役員

- 会長／浅井 彰子①
 副会長／浅野 善信① 都築 尚子①
 幹事長／後藤 祐治③
 幹事／伊藤 雅浩① 小澤和歌子① 眞鍋 陽子① 笠原 正博⑩ 平野 純里①
 藤井 敬子⑪ 野村 惇貴⑫ 小塩 里予⑭ 西野 公美⑭ 伊藤 未有⑯
 川脇沙也佳⑯ 田島 佳奈⑯
 会計／荒瀬 修三③ 岩田 茉奈⑯
 監査／祖父江利佳① 伊藤 健人③

森の会 会員数 2,516名
(2020年4月1日現在)

会員の皆さま、いかがお過ごしでしょうか。

今年の春はこれまでに経験したことのない厳しい日々でした。岐阜大学でも、長良川国際会議場に一堂に会しての盛大な卒業式と4月の入学式も取りやめとなりました。地域科学部棟での祝う会も中止になり、森の会に新たに正会員としてお迎えする2019年度の大学20期卒業、大学院18期修了の143人の皆さまに同窓会としてお祝いをお伝えする機会も失われました。

改めて、ご卒業とご修了、まことにめでとうございます。そして、森の会によろこそ。森の会の正会員は総勢2,516人。岐阜大学の他学部の同窓会に比べますと小さな組織ではありますが、卒業生の彩り豊かな活躍が自慢です。

今年度、森の会は設立20周年を迎えます。ご案内のように、秋には記念行事を計画しています。感染症予防対策をとって十分に注意を払っての開催です。広い会場ですが、人数制限がありますので、お早めのお申し込みをお待ちしています。

皆さま、お気をつけて、どうか健やかに過ごしてください。10月18日には元気なお顔でご参加いただけることを心待ちにしております。

森の会 会長 浅井 彰子

森の会では、みなさまからの近況報告、ご意見・ご感想を募集しております。メールまたは郵送にて下記までお送りください。

連絡先

森の会 (岐阜大学地域科学部同窓会)
 〒501-1193
 岐阜市柳戸1番1 岐阜大学地域科学部内
 TEL : 058-293-3021
 FAX : 058-293-3008
 E-mail : mori2001@gifu-u.ac.jp
 事務局業務日(月・水・金 9:00~15:00)



森の会アドレスに
簡単にアクセス
できます



森の会 MORINOKAI NEWS vol.18 ニュース18

2020年8月1日発行 編集・発行／森の仲間たち

I・N・D・E・X

- 先生からのメッセージ……………2~4
- 会員だより……………4~8
- 高橋弦先生を偲ぶ……………5
- 2019年度会計報告……………6
- 進路状況・基金のご協力とお願い……………7
- 役員紹介……………8

2020年度 森の会総会・懇親会 森の会設立20周年記念講演会のご案内

2021年3月25日に森の会(地域科学部同窓会)は、設立20周年を迎えます。これを記念し、総会・懇親会とあわせて中村梧郎氏をお招きして記念講演会を開催する運びとなりました。総会・懇親会ともに多くの皆さまのご参加をお待ちしています。

日時 2020年10月18日(日)

14:00~16:15 森の会設立20周年記念講演会(受付 13:30~)

講師 中村梧郎氏(元岐阜大学地域科学部教授)

テーマ 「地球温暖化とゴミの問題」 ※詳細は、同封のチラシをご覧ください。

16:30~18:30 森の会総会・懇親会

場所 岐阜グランドホテル 岐阜市長良648番地 TEL 058-233-1111

交通案内 ホテル送迎バス(無料)有

【行き】団体バス乗降場

JR岐阜駅じゅうろくプラザ前 13:00発

【帰り】グランドホテル18:45発

お車でお越しの場合、無料駐車場有(200台収容)

懇親会会費 5,000円(在学生は3,000円)

当日受付にて申し受けます。 ※記念講演会は、無料

申込締切 9月25日(金)

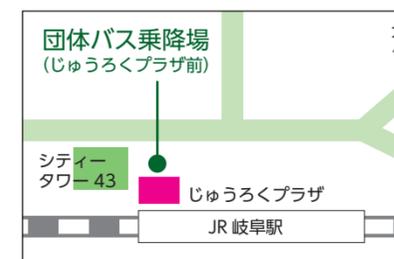
申込方法 同封のはがき、メールまたはFAXにて出欠をお知らせください。メール、FAXでお申込みの方は、氏名、住所、所属ゼミ、電話番号、送迎バス利用の有無とできれば封筒宛名シール右下に記載の番号をご明記ください。また、下記の参加希望の内容もお知らせください。

- Ⓐ 全て参加
- Ⓑ 記念講演会のみ参加
- Ⓒ 総会・懇親会のみ参加

E-mail : mori2001@gifu-u.ac.jp

FAX : 058-293-3008

森の会アドレスに
アクセスできます



地域科学部の 「いま」と「これから」

学部長 ● 洞澤 伸 教授



本年4月より、学部長を務（努）めております洞澤です。よろしくお願いたします。

今春は実に様々な出来事があり、その対応に追われて慌ただしい時間を過ごしました。一番大変だったのは、新型コロナウイルス感染症による影響への対処です。学生の健康・安全面を最優先に考えた結果、卒業式に続き、入学式も中止となり、門出の風景は例年とは一変しました。一時的ではありましたが、大学は全館閉鎖となり、新学期は思いもかけないスタートとなりました。授業の実施方法の検討、On-line 授業の導入、対面授業の開始など、日々急速に変化する状況において、その都度、適切に対処することが求められる緊張が続きました。幸いにも現時点において、前学期はどうか終了できる見込みです。しかしながら、後学期における不測の事態に備えて、できる限りの準備をしなければならないと考えています。

この4月に地域科学部の新しいカリキュラムがスタートしました。さまざまな分野の知見を幅広く学べて、また、同時に特定の分野の専門性を高めることができる総合的カリキュラムの中核はそのままにして、一部の改定を行いました。地域政策と地域文化の2学科の所属は、これまでとは異なり、専門セミナーの所属によって決まるのではなく、学科の目的と開設されている授業科目から学習計画を立てて、2年前期に学生が自ら決めるようにしました。履修の指針として、「産業・まちづくり」「自治政策」「環境政策」「生活・社会」「人間・文化」の5つの履修システムを設置しました。これらは卒業要件となっていた従来のコースではなく、分野毎に関連性の高い授業を再配置した履修モデルとしての授業科目群です。学生たちは専門性の幅を広げるために、どれか1つの履修システムの授業科目を中心に、他の授業科目からも選んで幅広く学びます（【横軸の学習】）。そして、専門セミナーの連続的履修と卒業研究により、特定の分野を深く学んで専門性を高めま（【縦軸の学習】）。それまでに、初年次セミナー、基礎セミナーなどで基礎的な学習をすることにより、その開始に備えます。その他にも、「地域研究入門」による導入教育、「社会活動演習」での体験学習、「地域学実習」におけるフィールドワークによる調査、報告書の作成とプレゼンなどの実践教育により、多くの経験を積んでいきます。以上、これらの基礎科目、実習系科目とともに、【縦軸と横軸の組み合わせによる座標系学習】によって、多様な分野を幅広く、特定の分野を深く学ぶことができる総合的なカリキュラムとなりました。

その他、希望する学生は誰でも選択することができて、1年間の海外留学をしながらも、4年間で卒業できる「国際教養プログラム」も用意されています。このような総合的カリキュラムに基づいて学習に真剣に取り組めば、豊富な知識を背景とした多面的な思考力、行動力、コミュニケーション能力などが確実に身に付くはずで。学生たちには、何かについて知りたい、学びたいという熱い思い、または、強く関心を抱く話題を遠慮せずに教員に直接ぶつけて欲しいと思います。

また、4月に発足した東海国立大学機構の機能強化と将来の飛躍的發展のために、近日中に機構長との対話が予定されています。その際の材料とするため、地域科学部の「中長期ビジョン」を策定しました。そこでは、本学部の今後10年間の発展の方向性と重点推進施策を示しました。その方向性の概略は、次の(1)～(3)です。

(1) 【教育】

文理横断的カリキュラムによる教育をさらに強化・推進し、地域社会における課題解決・文化の発展等に貢献できる人材を育成する。

(2) 【研究】

各分野の専門的研究とともに、学際的な研究を行う基盤を強化し、より良い社会の形成、発展に繋がる地域科学の研究基盤を生み出す。

(3) 【社会貢献】

地域社会の課題解決・文化の発展等に寄与し、広く社会貢献を果たす。また、このことにより、地域社会におけるソーシャルキャピタル（誰もが安心して暮らせる理想的な生活環境）の再建と構築およびその強化を目指す。

このような「中長期ビジョン」の策定作業により、私たち教職員は改めて本学部の使命を再認識し、学生と社会に対して負っている責任を痛感いたしました。地域との連携を含む本学部の教育研究活動は、地方創生と地域発展の鍵として社会的に大きく期待されています。その期待に応えるために、私たちはこれからも地域科学部の発展のために努力して参りますので、同窓会の皆様からは今後ともご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

「森の会」の皆さんと、再び学べる日を願って

地域文化講座 ● 林 正子 教授



地球規模での新型コロナウイルス感染拡大という、21世紀を生きる私たちにとって未曾有の事態と不安な日々が続いています。岐阜大学地域科学部・大学院地域科学研究科の卒業生・修了生「森の会」2,516人の皆さんお一人おひとりが、お元気に一日一日をお過ごしのことをご心より願っています。

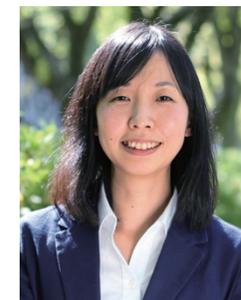
2021年3月、定年退職の日を迎える私にとって、教養部9年1か月、地域科学部24年6か月、岐阜大学33年7か月におよぶ皆さんとの数々のエピソードとともに、数か月にわたって対面授業をおこなうことが困難になったこの最終年度は、忘れることのできない日々となりました。

これまで全学共通教育「日本文学」「教養セミナー」関連の授業のほか、地域科学部・地域科学研究科では、「文学」「文化基礎論」「文化受容論」「日本文化論」「専門セミナー」「日本近代文学特講」などの授業科目を担当させていただいてきました。まさに「光陰矢の如し」ではありますが、受講生の皆さんと近現代の日本の文学作品を対象として、いかに生きるべきかという人生のテーマを追究するとともに、日本という国の歴史文化を相対化する国際的な視点を養うことに努めてきました。

文学という分野が、哲学、歴史学、政治学、社会学等々、人文・社会科学の他の学問領域といかに密接に連環しているかについても、皆さんと一緒に学んできました。至らないことは多々ありましたが、岐阜大学での年月は、私自身にとって、まさに

皆さんとの交流をとおしての学びの日々でありました。受講してくださった方々にも、ご自身のお仕事や家庭生活におかれまして、地域科学部・地域科学研究科での学びの成果を、折りにふれて想起・実感していただいていたならば、こんなにうれしいことはありません。

〈パーソナル〉を基点として〈ローカル〉から〈グローバル〉へ、さらに〈ユニヴァーサル〉に連環する学問の理想型は、実は文学研究の本質的な道筋を示しているのではないのでしょうか。そしてそれは地域科学部での〈地域研究〉の醍醐味でもあると考えています。2021年3月、一旦「卒業」はいたしますが、今後も、皆さんと私にとっての「故郷」である岐阜ゆかりの文学作品を論じるとともに、若き日に留学・滞在させていただいたドイツの思想文化の近代日本文学における受容の意義について、自分なりの研究を深めてゆきたいと願っています。またいつの日か、「森の会」の皆さんとさまざまなかたちで一緒に学べる機会を祈念し、皆さんお一人おひとりのご健康とご多幸を、いつの日も、心よりお祈りしています。



常識の外へ踏み出そう

地域構造講座 ● 堀江 未央 助教

こんにちは。2020年4月より地域科学部に着任しました堀江です。着任後すぐにCOVID-19が日本全国に広がり、岐阜大学構内は原則入構禁止、教職員は自宅勤務、授業も原則はオンラインで…という異例の事態のなかでのスタートとなりました。地域科学部がどんなところか、教員の方々や学生の雰囲気はどうか、体感できない不安もありましたが、幸い大学が再開して以降、気さくで気取らない素晴らしい学部の雰囲気に、居心地の良さをかみしめています。また、自宅待機のあいだに、2歳になる娘とともにクワガタをつかまったりドジョウを飼ったりと、岐阜の豊かな自然をたっぷりと感じています。

わたしは、フィールドワークという手法の面白さに惹かれて文化人類学を志し、様々な縁が重なって、中国雲南省の山地に暮らすラフという人々の村に通い始めて10年になります。中国西南端に暮らし、中国語をほとんど解さないラフの人たちに、火の起こし方から鶏の解体方法、ブタの餌やりなどを手取り足

取り教えていただきながら、彼らの家族関係や結婚のあり方、その現代的な変化について調査を進めてきました。岐阜大学地域科学部では、地域学実習や初年次セミナー、ジェンダー論を担当し、フィールドワークの醍醐味や、我々を取り巻くジェンダーの構造について、学生に伝え、ともに考えていきたいと思っています。

どの授業においても、学生に伝えたいな、と思っているのは、世界にはいまわたしたちが生きている常識の外に「そうではない世界がありえる」ということです。家族関係や対人関係などにしても、「こうでなければならない」と自分が思っているやり方とは全く異なる関係を築いて暮らしている人たちがいて、そのあり方は一様ではありません。私たちが縛られている常識の外に「そうではない世界がありえる」ということを知っているかどうか、それが生きづらさを和らげ、人生を豊かにしてくれる第一歩ではないかと思っています。他者への不信や分断の進む現代社会ですが、他者への想像力を持ち続ける姿勢を学生たちと共有し、深めていきたいと思っています。

ごあいさつとおわび?

はじめまして（ではない方も一定数いますが、この点はまた後で）。今年度より地域科学部に着任し、法学系科目（専門：憲法）を担当しています。

コロナ危機の下での着任となり、大学に行くこともほとんどなく、実感のわかないままこの文章を書いています。過去の「森の会ニュース」を振り返ってみると、新任教員は、自身の研究分野にふれることが恒例のようですので、私も先人にならない、コロナ危機の下で憲法学が果たし得る役割（の有無）を考えることにより、着任のごあいさつとします。

憲法は、国家権力（を担う「公務員」）を統制するための法（99条）ですが、いうまでもなく、憲法でウィルスを統制することはできません。その点では、憲法はコロナ危機に対して無力であるといえます。また、憲法は、しばしば、「自由の基礎法」ともいわれますが、移動の自由（22条）が感染拡大の要因になり得ることからすれば、憲法は、コロナ危機に対して無力どころか、有害でさえあるかもしれません。

他方で、憲法は、国民権原理を採用しており（前文および1条）、日々の政治的決定が国民の要求に応答してなされることを求めています。そして、そのためには、選挙権（15条1項）と表現の自由（21条）の二つのルートを機能させる必要がある、と憲法学では考えられています。

この間の国民の“怒り”は、〈表現の自由ルート〉を通じて、

地域政策講座 ● 小牧 亮也 助教

政府の対応に一定の変化をもたらしました（「お肉券・お魚券」が10万円給付になったり、「不要不急」の立法を「見送り」にまで追い込んだり…）。その意味では、コロナ“危機”は、国民権原理の実質化に向けた“好機”でもある、という見方が成り立つかもしれません。

とはいえ、散発的に表明された“怒り”が〈選挙権ルート〉（投票行動）に接続される見通しははっきりせず、その点が「一定の変化」にとどまっている要因であるように思われます（生活困窮者や失業者、学生への支援は不十分です）。

コロナ危機という新たな状況の下で、〈表現の自由ルート〉と〈選挙権ルート〉の接続はいかにして可能になるのか、その諸条件の解明がさしあたりの課題となりますが、すでに紙幅が尽きました。結論はありませんが、時代の要請に応えた憲法学の役割を、学生と一緒に模索していきたいと思えます。

ところで（唐突！）、実は、私は地域科学部の卒業生（2009年3月卒業なので、たぶん9期生）でもあります。これまで同窓会に全く貢献してこなかった非礼をおわびしつつ、今後は教員として、また、同窓会の一員として、できる限り協力していきたいと思えます。



退職された先生のご紹介

2020年3月31日付

定年退職 宮野雄一 教授（地域政策講座 地域経済学）
竹内章郎 教授（地域文化講座 社会哲学）
近藤真庸 教授（地域構造講座 健康教育論）
高木和美 教授（地域構造講座 社会福祉学）

新しく着任された先生のご紹介

2020年4月1日付

採用 小牧亮也 助教（地域政策講座 憲法学）
平川 和 助教（地域文化講座 アメリカ文学）
芹口真結子 助教（地域構造講座 地域史）
堀江未央 助教（地域構造講座 人類学）

会員だより

みなさんこんにちは。3期生の木下静子です。光陰矢のごとし…卒業してからあっという間に17年が経ってしまいました。卒業してからは、地元で地方公務員として水道事業に携わっています。水道というとみなさんが必ず毎日使っている大事なライフラインです。蛇口をひねればいつでも当たり前に出る水を送り続けることを目指し日々励んでいます。目下の目標は、今後直面する水道事業の厳しい環境について少しでもみなさんに知ってもらえるよう、PR活動等を通してみなさんがあまり考えたことがないであろう水道についてのいろいろな情報を提供できたらと思っています。

話は変わりますが、大学を卒業してから、学校行事を気にすること、ましてや参加する機会は全くと言ってありません

第3期生 木下 静子

でした。が、ひよんなきっかけで、年1回開かれる地域科学部同窓会「森の会」の懇親会に参加することになり、かれこれ6回連続皆勤賞です。少人数ですが、懐かしい先生方や一緒に勉学に励んだ仲間、自分の知らない世界で活躍されている同窓生の話の聞いたり、毎回催されるお楽しみ企画にみんなで参加したりと、毎回アットホームな雰囲気の中で楽しませていただいています。懇親会きっかけで、地域登山隊（自称）が結成されたり…など。みなさんも同じ学問を学んだ新しい仲間と会いにぜひ一度足を運んでみてはどうでしょうか。新しい発見があるかも。



富士山頂にて

高橋 弦 先生 (第4代学部長) を偲ぶ

2019年12月12日にご逝去されました。
謹んでご冥福をお祈り申し上げます。



高橋弦先生を偲ぶ

昨年12月12日、1996年の地域科学部創設以来、学部多大の貢献をされ第4代学部長も務められた高橋弦先生が71歳で亡くなりました。ここ数年の食道癌との闘病はあったものの症状は安定していたはずで、当日午前中も奥様と歓談されており、危篤との知らせにもまさかという思いでした。昼食時の誤嚥が死を早めたようで、もっとお話ししたかった、とご臨終の場で私は後悔の念で一杯でした。

野武士のような誇りを持ち、譲るべきでない一線を断固として死守しつつも、他方での独特の飄々とした巧みな交渉術で、大学内外からの学部変質の動きを封じ込め、地域科学部のいわば安定期の創出に最も貢献されたのが高橋学部長でした。熱心な学生教育はもちろんでしたが、目立たない所で私達世代に大学政治が何たるかを身をもって教え、本物の後輩育成に努力されたのも高橋先生でした。

ビスマルクの社会保険政策の批判的検討を焦点とした『ドイツ

1期生 伊藤 雅浩

高橋先生のご逝去を悼み、心からご冥福をお祈り申し上げます。23年前、私は1期生として地域科学部に入学し、高橋ゼミに入りました。

あまり勉強熱心ではない学生だったので、指導のしがいかなかったかもしれませんが、そんな私を含めて、先生は学生に対して「課題を把握し、自分で考え、行動し、解決する。」という能力が育つように指導されていたのだなと感じております。社会人に必要なこの能力が学生時代に鍛えられたのは本当にありがたいことでした。

先生に最後にお会いしたのは、退官される際に開催された最終講義でした。そのときには、以前と同じような柔らかな雰囲気と講義をされていたので、同窓会の席などで、またお会いできるものと思いつつ講義を拝聴しておりました。改めて先生の講義を聴き、学生時代にもっと一所懸命に経済学というものに取り組みれば良かったと、知的好奇心を揺さぶられるとともに反省したことを覚えています。

先生との出会いによって経験したことは、今でも私を形作る大切な記憶となっています。先生、これまで貴重なご指導をいただき、ありがとうございました。

訃報 中井 健一 先生 2019年4月にご逝去されました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

たけうち あきろう 名誉教授 竹内 章郎

社会保障成立史』(梓書店)という著作のある高橋先生は、社会保障に詳しいだけでなく、社会科学方法論や社会思想にも造詣が深く、哲学系の私も多くを学ばせてもらいました。特に、現存社会の内側のギリギリのところと社会変革の萌芽を捉え、この萌芽と社会変革の理念とを結合し続け、象牙の塔に籠もらなかった研究姿勢には高橋先生の面目躍如たるものがありました。この姿勢は、学部の若い教員も参加し高橋先生が編まれた編著書『なぜ、市場化に違和感をいだくの?』(晃洋書房)にも、遺憾なく発揮されていたと思えます。

岐大の定年退職後も、障がい者を支援する社会福祉法人の後援会長を無償で引受けられ、岐阜県地方自治研究センターの理事長をされ、岐阜九条の会も牽引されていました。今後も様々活躍して頂けたはずで、本当に残念でしかたありません。でも先生の業績は、私達だけでなく二人の息子さんにも受け継がれています。高橋先生!ご苦労様でした。安らかにお眠り下さいませ。

6期生 籠原 大祐

高橋弦先生、先生に経済学を教わっていたのはもう14年も前のことです。そのためか、在学中に先生から教わった学問のことは遠い彼方のことのような気がします。しかし、先生がその穏やかなお人柄や優しい笑顔で同僚の先生や学生誰からも慕われ愛されるお人柄であったことは今でも鮮明に覚えています。

先生からいただいた言葉でとても印象に残っているものがあります。私が就職の報告をさせていただいた際に先生がおっしゃった、「社会に出てからは真面目なバカが一番損をする」という言葉です。決して有能ではなかった私への叱咤激励の言葉だと思いますが、その言葉を私は色々な経験をして広く視野をもちなさいという意味だと理解し、これまで仕事に私生活に広く関心をもち一生懸命やってきたおかげで今の自分があると思っています。

ご指導いただき本当にありがとうございました。

最後になりますが、お身体のごともあり、大好きなお酒をずっと我慢しておられたと聞いております。これからは、好きなだけ飲んでください。

心からご冥福をお祈りいたします。

会員だより

地域科学部 2018 年度卒業生で、内田ゼミ出身の丸山純平と申します。

「公務員になり、定時で帰宅してポケモンを育てる！」との大きな志を胸に入学しましたが、フリーペーパー GIFT を制作する「学生団体岐阜人」との出会いを境に人生が 540 度変わりました。ポケモン以外の友人に恵まれ、まちづくりを仕事にしたいと志して休学・留年、長きに渡って地域科学部にお世話になります.....最終的に、飲み会で仲良くなった同郷の社長に拾っていただき、現在は地元の飛騨高山のデザイン事務所で企画・ライターとして働いています。

人生とは不思議なもので、地域の困りごとや中小企業の課題をクリエイティブで解決するお仕事かつ、多様な業種と関わっているのでは理想に近い職場です。自身の実力不足を痛感す

まるやま じゅんぺい
16期生 丸山 純平

る瞬間は多々ありますが、飛騨人インタビューメディア「ヒダスト」、高校生の探究活動を担う「飛騨ジモト大学」、コロナ禍の飲食店を支援する「そしゃテイクアウトやぞ」と地域に根ざした活動に関わっております。

在学中はろくに授業には出ていなかったお恥ずかしい僕ですが、世の中には無数の学問があり、多様な思想・価値観が存在していることを教えてくれたのは地域科学部でした。

20 代の最後に、よりまちづくりに関わるための大きな挑戦を考えています。在学中から一貫して恵まれている人の縁を感じ、いつか胸を張って母校にも恩返しができるよう頑張ります。



高山市長（向かって左）と一緒に

2019 年度会計報告

自 2019 年 4 月 1 日 至 2020 年 3 月 31 日

(単位：円、小文字は内訳)

●収入の部

項目	決算額
会費 (10,000 円× 104 名)	1,040,000
懇親会費	50,000
受取利息	569
その他	0
当期収入合計	1,090,569
前年度繰越金	1,490,797
収入合計	2,581,366

●支出の部

項目	決算額
事業費	350,797
会報等印刷費	179,334
会報等郵送費	171,463
卒業・修了祝会祝い金	0
事務費	450,090
人件費	362,590
事務用品費	48,182
通信費	36,012
その他	3,306
会議費	191,507
諸会費	13,500
役員会雑費	24,283
交通費	153,724
総会費	108,030
総会経費	0
懇親会経費	108,030
予備費	0
当期支出合計	1,100,424
当期予備費合計	0
支出合計	1,100,424

項目	収入の部	支出の部	差引計
次年度繰越金	2,581,366	1,100,424	1,480,942

●資産保管状況

項目	現在高
現金	0
普通預金	
十六銀行	1,480,942
ゆうちょ銀行	0
定期預金	
十六銀行	8,000,000
合計	9,480,942

進路状況 学部進路

2019 年度卒業生進路状況 (2020 年 5 月 1 日現在:カッコ内は人数で 1 名の場合は省略)

公務員 (36) 厚生労働省 一宮市(2) 国土交通省 土岐市 総務省 恵那市 法務省(2) 愛西市(2) 岐阜県(14) 柏崎市 愛知県(2) 岐南町 岐阜市(4) 池田町 名古屋市長務原市	建設・製造業 (15) (株)パナホーム愛岐 ウッドホーム(株) イチビキ(株) (株)コムラ (株)技術評論社 (株)ディーエイチシー エーエスペイント(株) (株)マキテック ヤマザキマザック(株) (株)フロウエル (株)デンソー レシップホールディングス(株) 中央精機(株) 天龍ホールディングス(株) 豊田合成(株)	情報通信・運輸業 (22) (株)サーベイリサーチセンター (株)セイノー情報サービス (株)ソフィア総合研究所 (株)テクノア (株)ドコモCS東海 (株)ミロク情報サービス (株)豊通システム NTT西日本 TIS(株) アビームシステムズ(株) エイムネクスト(株) エックスサーバー(株) シーシーエヌ(株) ユニアデックス(株) (一財)岐阜県市町村行政情報センター 岐阜新聞社 住友電工情報システム(株) 西尾張シーエーティーヴィ(株) 東海ソフト(株) (2) 名古屋テレビ映像 他 1 件	金融・保険業 (9) あいおいニッセイ同和損保 愛知県信用保証協会 丸三証券(株) 岐阜市信用保証協会 岐阜信用金庫(2) 知多信用金庫 第一生命 東京海上日動火災保険(株)
卸・小売業 (11) (株)キタガワマルカネ (株)サンゲツ (株)ジューピターコーポレーション (株)明治フレッシュネットワーク ユアサ商事(株) (株)BANKANわものや (株)アルベン (株)駿河屋魚一 (株)良品計画 DCMカーマ(株) トヨタカローラ愛豊(株)	複合サービス業 (3) 西美濃農業協同組合 全国農業協同組合連合会岐阜県本部 大学生協事業連合	電気・ガス・水道業 (1) ジェイエイトービス(株)	進学 (4) 岐阜大学地域科学研究科(2) 一橋大学大学院 海外の大学
教育・医療・福祉業 (4) 朝日大学 JA岐阜厚生連 (一社)岐阜総合検診センター 岐阜県国民健康保険団体連合会	サービス業 (10) 国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 (株)新東通信 アクセンチュア(株) (株)リレセラ (株)物語コーポレーション 自営業 (株)JTB (株)プラス サンワード(株) あいぎ行政書士事務所	運輸業 (5) (株)フジドリームエアラインズ JR東海旅客鉄道(株) 岐阜乗合自動車(株) (2) 中部国際空港(株)	卒業生数 125 就職希望者数 119 就職決定者数 116 進学者数 4 進路未定者数 3 その他 2 就職率 97.48% (就職決定者数÷就職希望者数)

研究科進路

2019 年度修士進路状況 (2020 年 5 月 1 日現在:カッコ内は人数で 1 名の場合は省略)

公務員 (2) 岐阜県 関市	製造業 (2) アビ(株) (株)日東	情報通信業 (1) (株)EDUCOM	卸・小売業 (1) 三起商行(株)	金融業 (1) 中国交通銀行
サービス業 (2) 内モンゴル赤峰市紅山区検察院 広東熊貓国際旅行会社	修士生数 21 就職希望者数 12 就職決定者数 9 進学者数 0 進路未定者数 3 その他 ※ 1 9 就職率 75.00% (就職決定者数÷就職希望者数)	※ 1 社会人修士生を含む		

岐阜大学地域科学部基金のご協力とお願い

地域科学部及び地域科学研究科が更なる飛躍発展を遂げ、地域社会からの信頼と期待に応え、地域社会に貢献する責務を果たすために、ご寄附をお願いします。

この基金による支援事業は、1. 学生に対する学術交流協定校への留学支援、2. 教育研究活動に対する支援、3. 産学官連携及び社会貢献活動に対する支援、4. キャンパスの環境整備・充実に対する支援等としております。多くの皆様のご協力により、本学部・研究科の教育研究活動を支援し、もって地域社会の発展に貢献しうる学生を養成するために本基金を活用させて頂きたく存じます。つきましては、皆様には本趣旨をご理解の上、格別のご支援を賜りたくお願い申し上げます。

岐阜大学地域科学部基金のご協力とお願い

URL : <http://www.rs.gifu-u.ac.jp/newstoppers/2018/03/19/post-13.html>

岐阜大学地域科学部 学部長 洞澤 伸